

# 令和6年度東部地区小・中学校等5年経験者研修（選択コース）実施報告

## 1 実施について

	期日・会場	校種・コース	参加状況(人数)		
			参加者	欠席者	その他
第1日	7月22日(月) 久喜市栗橋南小学校	小学校及び義務教育学校前期課程 (音楽・図工・体育・家庭・総合・ 特別支援教育)	97	0	12
第2日	7月31日(水) 久喜市立東鷲宮小学校	小学校及び義務教育学校前期課程 (国語・社会・算数・理科・生活・ 外国語)	102	2	5
第3日	8月2日(金) 加須市立加須東中学校	小学校、中学校及び義務教育学校 (特別活動・道徳)	168	4	1

「その他」は読替を行った人数。県立総合教育センター等が実施する教科指導等に関する専門研修等を受講。

## 2 アンケート結果について

### 【選択コース】 (単位：%)

質問内容	4	3	2	1
内容がわかりやすい	87.9	12.1	0	0
授業実践に役立つ	89.1	10.9	0	0
悩み・課題が解決	78.8	21.2	0	0
意欲的に取り組んだ	77.0	23.0	0	0
7月22日(月)・・・音楽・図工・体育・家庭・総合・特別支援教育				
7月31日(水)・・・国語・社会・算数・理科・生活・外国語				
8月2日(金)・・・特別活動・道徳				

「4」… あてはまる  
 「3」… どちらかといえばあてはまる  
 「2」… どちらかといえばあてはまらない  
 「1」… あてはまらない

## 3 研修参加者の感想から

### (1) 教科等ごとの主な感想

音 楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な学年の学習内容に触れて、音楽の系統性がよく分かりました。常時活動や鼓笛指導など実践的な内容も多く、2学期からすぐにも取り組みたいと思いました。また、佐山先生の実践のお話から、器楽や歌唱、鑑賞、音楽づくり、和楽器についての指導のあり方を多く学ばせて頂きました。</li> <li>具体的な発声練習を自分自身が体験して勉強になりました。息の使い方を、歌唱においても、リコーダーにおいても、とても大事だということが分かりました。今日勉強したことを2学期以降の指導に生かしたいです。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>図工の研修が初めてで、今まで何となくやっていた図工の授業も、技法や指導を少し変えるだけで子供も授業者も楽しくなるなと思いました。今回の研修で学んだことは、図工の授業だけでなく、学級づくりなどにも使えるものもあったので、2学期から活かしていきたいです。</li> <li>細かい技法について、時間をかけて研修を受けたことがなかったので、新たな発見がたくさんありました。また、同じテーマでも多くの表現方法があるということで、作品の見方、作り手の思いなどを感じました。改めて子どもたちの思いを大切にしたい授業を行いたいと思いました。</li> </ul>
体 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい体育授業を行うために大切なことを学びました。特に、単元計画における児童の実態把握やねらいの明確化など、他校の先生方と試行錯誤しながら考えることで、その重要性や多様性に気づくことができました。今回演習で実際に単元計画を考えた際に、実際に自分の学級でもやってみたいと思いました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びについて、学習過程や学習形態、教材の特性に応じた授業展開について大変勉強になりました。体育科の授業として、改めて押さえなければならない視点や、学習指導要領の活用についても再確認でき、今後の自身の教材研究に活かせることが多々ありました。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習に関わる授業提案や模擬授業では、5年次の他のみなさんの授業提案を聞き、児童と同じ立場にたって参加することで新たな考えが生まれました。真似したい、やってみたいが詰まっていました。</li> <li>私自身、裁縫に苦手意識があり、たくさん聞いて頼ってしまったのですが、先生方は一つ一つ丁寧に教えてくださったので、安心して活動ができました。本日の研修を、子供達に還元し、家庭科の授業作りをさらにパワーアップして進められそうな気がしています。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで総合の時間は調べ学習にとどまっていたのですが、外部との連携を図ったり、目的意識や相手意識を明確にしたり、児童がわくわくどきどきする仕掛けをつくったりすることがいい授業につながるということがわかりました。</li> <li>子供が本気になれる時間を設定する。ということを中心に考えることを教えていただきこれから作成するにあたり意識していきたいと思いました。また、活動させるにあたり相手意識、当事者意識をもつことで主体的な総合的な学習の時間の活動につながると感じました。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育は全ての子供達に当てはまる支援であるということを念頭において、個別最適化した学びを提供したいと感じました。座らせ方、学ばせ方、まとめ方全てを選択させるのは勇気があることだと思いますが、よりより未来のために時間をかけて指導していきたいです。</li> <li>一番大切だと思ったことは、特別支援教育の視点にできないことをできるようにするのではなく、その子の「強みを生かす」ことだということです。子供達は多様な「個性」をもっています。その子の個性、よさを伸ばしていけるように今日吸収したことを実践していきたいと思います。</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元計画や本時の作成を通して、単元のゴールを明確にすることの大切さを学びました。子供達が意欲的に学習に取り組めるよう、目的意識、相手意識をもたせたゴールを設定して授業計画を立てていきたいです。</li> <li>グループで話し合ったことで、物語文をどのように指導していけば良いのか、自分一人では考えつかないアイデアを互いに出し合うことができ勉強になりました。具体的な手立てや、活動の視点をシンプルにすること、ICTの活用など多岐に渡りご指導いただき、二学期から活かしていきます。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の活用方法や、資料の読み取り等細かく学ばせていただきました。社会科の見方や考え方を改めて考えることができ、自身の課題を再確認することができました。</li> <li>社会科の授業に必要な教科書の使い方や見方・考え方などを教えていただき今後の授業づくりに活かしていきたいと思います。また、模擬授業を通して時間をかけて1時間の授業について考えることができてよかったです。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで授業を考えることでいつもの授業の困り感や実践例を共有することができました。同じ授業でも展開は様々あるので実態に応じて、教材研究をしていかななくてはならないなと思いました。二学期からは学び合いを重点にして、友達に聞く、先生に聞く、など環境づくりに努めていきます。</li> <li>指導者の先生の実践事例を聞き、個別最適な学びについて勉強になりました。複線型の授業を行うためには、ICTを有効活用し、教師が喋ることを減らしていくことが必要であると感じました。そのためには、本を読んだり、実践をみたりして自分を高めることが大切だということも学びました。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の授業をする上で、安全面や教材の工夫など教えていただきました。実験は教員の準備が大変ですが、今回実験を体験させていただいたので、学校でも生かしてやっていきたいです。教科書には書いてない情報もたくさんあり、とても参考になりました。</li> <li>理科の授業で何を大切にしていきたいか整理した時に、たくさんの視点があり児童の実態に応じて精選していく必要があると感じました。また、基本的な事項や学年ごとの問題解決の視点など改めて抑えることができました。さらに精進して頑張りたいと思います。</li> </ul>

生 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の規準、特に思判表の判断規準についての講義がとても勉強になりました。評価に悩んでいたのので、今日学んだことをもとに、2学期以降の評価に活かしていきます。</li> <li>・松ぼっくりツリーやころころ車の作り方が分かりました。地域の特色を生活科と合わせる難しさと楽しさを知りました。</li> </ul>
外 国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二学期以降、使えるアイデアを授業プラン発表の中から参考にさせていただくことができました。授業作りの中で、子供が話したいと思うことを大切に作ること、インプットをたくさんしたり、リキャストしたりする際の注意点など、たくさん学ばせてもらいました。</li> <li>・校内の研修でも外国語は少なく、small talk の具体的な内容を他の先生方と話し合う事ができてとても有意義でした。外国語を選択した人数が少なかった事もあって、指導者の先生方の意見を聞く機会が多く、質問もしやすかったです。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自己決定や自己実現を図れるように学校(学級)という社会から学級会等を活かして学びを広げていくことが重要なのだと改めて感じました。模擬討論会では、児童の立場に立って考えることができたのが新鮮でした。深める、まとめることは難しさもある一方で、児童の力を信じ、失敗しても積み重ねることの必要性を教えて頂いたのので、今後も特別支援学級の目線からの配慮も入れつつより良い授業にしていきたいです。</li> <li>・私たちの悩みに沿ってお話をしてくださり、悩みが解消できたことや、学級会への意欲が高まったことがとても良かったです。具体的には、学級会に向けた計画委員の動かし方や活動期間、議題設定などについて話を聞くことができました。また、先生が実際に使っているグッズやノートを見ることができたので、今後の特別活動に活用できると思いました。</li> </ul>
道 徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日のバス停留所の教材を通して、中心発問を考えました。道徳では、いかに自分自身のことを見つめるかが大切なので、テーマ発問を中心発問とすることが大切なのだと学びました。その後で、必ず振り返りとして、今までの自分の生活を振り返り、今後どうしていきたいかを考えることが大切だと学びました。二学期の授業から実践していきたいです。</li> <li>・道徳は綺麗事だけでなく、心のうちの弱さも引き出さなければならないと学びました。そのため道は一つだけでなく、いくつもあるから教材研究を深くしなければならぬと改めて学びました。また、自分が学ばせたいねらいがぶれないようにすることが大切だと思いました。</li> </ul>

## (2) 取り上げてほしい内容(抜粋)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー育成について。(中間層の生徒をいかにリーダーに育成していくか。)</li> <li>・働き方改革の視点で効率的に業務を進めるための方法やツールについて。</li> <li>・不登校生徒への関わり方 ・配慮を要する生徒への対応 ・ICT の具体的な活用方法</li> <li>・保護者対応、生徒指導 ・学年・学級経営 ・PBL 学習(問題解決型)、AI を活用した授業実践</li> <li>・複線型の授業について ・ジグソー法 ・特別支援教育を選択ではなく全体で取り上げる</li> </ul>
---

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・理論的な指導や実践事例の紹介により、実践的指導力を高めることができた。また、各教科、質疑・応答がしやすい雰囲気であったため、日々の授業実践での悩みの解消や今後の授業改善への意欲向上につながった。
- ・どの教科においても、単元計画の作成や指導案検討など、グループでじっくりと授業構想を練る時間が有効であった。
- ・実技教科においては、実験、歌唱や演奏、調理や裁縫、絵画技法等、教科の特性に応じた指導のポイントを知り、様々な指導技術を得ることができた。

### (2) 課題

- ・特別支援教育に関しては、特別支援学級担当者が選択する傾向がある。通常学級においても特別支援教育の視点を高めるために共通コースの一つとして取り入れるかを検討する。
- ・選択コースにおいて受講者人数が少ない教科があった。選択教科を第3希望まで取るなどし、受講者の人数をバランスよく割り振るなどの対応が必要か検討する。